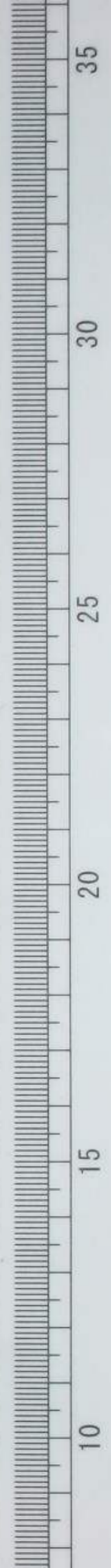


U 8
5488
1



5488
1

嘉永己酉開錄

海外新話

巖田氏

文



巨礮震天堅城摧夷船進港
 漢軍走風鶴心寒况船礮咽
 喉之地棄不守誰招寇者林
 尚書海疆新令電激如寬猛
 二字失舉措每事都出憤懣
 餘鴉片煙消起土匪終見長

鯨掉其尾陣雲慘澹日無光
家家亂入黑白鬼十圍松櫟
風淒淒死骸橫路怪鴟啼邊
將空起望洋嘆封關建議今
噬臍宸廷泣降和戎詔北俞
南戚無人肖哀哉百萬講和

金往買庚酋一朝咲唯我
神州屹海東四沿清涵蒼波
中天賜前鑑非無意婆心記
事亦微衷嗚呼海國要務在
知彼預備嚴整恃有待雖無
神風覆萬艦復遣生還三人

耳。

嘉永己酉春三月題於澤
上寓居時絲管沸樓遊塵
漲空生遇太平寔可樂也

楓江釣人

例言

一此編ノ記事之ヲ夷匪犯疆錄ニ原ヅク然レモ
犯疆錄ノ一書南北諸省ノ將士奏議策論及ヒ
戰鬥間目撃ノ記得ルニ從ヒ雜集ノ編ヲ為ス
モノナリ依テ年月時日ノ次序ニ至テハ侵犯
事畧ニ據リ猶又謬誤アル者ハ他書ニ就テ改
正ス陣化成ノ陣亡ケル五月九日誤テ同月十二日
ノ條ニ記ルスカ如キ是ナリ
一犯疆錄ノ紀載道光二十年皇國天保十一年七月二日
英夷定海縣ヲ攻陷スルノ事ニ始ル依テ鴉片

煙流毒及ヒ林則徐廣東ニ於テ嚴酷ノ禁令ヲ
 設ケ終ニ夷人ノ侵犯ヲ招ク其濫觴ヲ知ル丁
 ナレ今且ク經世文編隱憂錄乍浦集詠清武記
 等ノ諸書ニ據テ變亂ノ緣由數件ヲ前ニ増載
 ス。脱誤或ハ少ナカラズ識者ノ訂正ヲ俟
 一 行文ノ体裁ハ盛衰記太平記總テ皇國古來軍
 藉中ノ套語ヲ用ユ。童蒙ノ士トイヘ凡一讀メ
 記誦シ易カラシメンカ為ナリ
 一 英人ノ官爵姓名共ニ漢譯ノ字面ヲ用ユ。スコ
 トヘイナクト官名ヲ水師提督ホテンチヤ人名

一 一 礮シナイ臺ダイヲ臺場ダイバク火槍ヒキヲ劍付鉄砲ケンツキテッポウナド譯シ。天砲テンテッポウノ
 如キハ直ニ漢譯ノ字面ヲ用ヒ猶又變語バングヲ以
 テボノメント傍訓ス彼是譯例ノ一定セザル
 者ハ只ニ時人稱謂ノ便ニ從フノニ
 一 英人戎裝及ヒ軍艦ノ圖ヲ掲ルモノハ彼國万
 里外ニ在テ我ト重洋ヲ隔絶ス故ニ其人物ノ
 形狀器械ノ製造ヲ知ル者少ナシ依テ和蘭船
 載ノ圖ヲ摸寫メ以テ本篇ヲ讀ノ一證ニ備フ
 ト云フ

雋識

總目

卷之一

英吉利記畧

坤輿畧圖

清國沿海畧圖

英國將長戎裝圖

同歩卒戎裝圖

同軍艦圖

同蒸氣船圖

烏片煙流毒片黃爵茲上書事

卷之二

林則徐奉命掌廣東政務事

於虎門燒燬鴉片圖

嘆國使節到廣東府事

楊靖江於穿山洋襲夷船事

英吉利王命義律發船軍事

麥模河發船圖

英夷陷定海縣城事并圖

袁兆魁探定海夷情事

出青田縣怪獸事并圖

卷之三

英將義律到天津江事

琦善於廣東私議和事

於蓮花港供應夷人圖

官軍到着廣東付燒討夷船事

粵秀山觀音靈驗事

道光帝逆鱗付琦善行罪科事

英兵攻廣東付參贊楊芳議和事

段永福發大砲擊碎夷船圖

英夷並湖南官兵亂妨事

卿勇與英夷戰鬥事并圖

卷之四

賈人張鴻製虎尾陣事并圖

噴鼎查嗎利遜再攻定海事

王錫朋血戰圖

掘出諸葛孔明所建碑石事

林朝聘諭大義退夷船事

鎮海生員王師真燒討夷船事并圖

官軍退治定海夷人事

乍浦落城并夷人亂妨事并圖

烈女劉氏事

卷之五

陳化成軍配并討死事并圖

鎮江府落城事

都統海齡妻投身火

欽差諸大臣奏和議事

兩軍和睦事并和約條目

同圖

目次終

英吉利國紀畧

イギリスハ歐邏巴洲西方ノ海中ニ在ル一大島

國ナリ漢人譯シテ英機黎啞咭喇諸厄利亞莫厄利亞等ノ字面ヲ用ユ近來又省稱ノ英國英夷ト云此島

北方ノ地ヲ思可齊亞ト云フ古昔ヨリ獨立ノ主

アツテ此ヲ領セリ然ルニ曆數一千七百零七年

英國ノ女王アンナ世ニ當テ其地ヲ併有シ且又

西方ニ在ル意而蘭土ノ一島ヲ得之ヲ總稱ノ大

蒲利丹厄亞ト云フ即チ地ヲ分ツテ五十二州ト

ナシ是ニ六十二ノ諸侯ヲ封ス其南方ハ「カライ

」ト云ヘル海峡ヲ隔テ和蘭佛狼西ノ兩國ト對

ス中間相距ル一僅二十二三里便風ニ帆ヲ開ク
寸ハ一日ニノ往還スベシ斯テ四沿ノ海岸巖石
聳立暗礁海ニ逆リ風潮ノ險惡實ニ恐ルベキノ
地ナリ依テ近隣ノ敵國トイヘ^{ナボレオホナバル}此窺覩ノ念ヲ茲
ニ絶ス既ニ那波礼翁勃奈跋兒的^{佛狼西國ノ如キ}
天下ヲ席卷スルノ英傑トイヘ^{佛帝}亦此ノ海險ヲ
恐レ敢テ兵船ヲ侵入スルヲナシ古來其國王或
ハ男或ハ女一定セズ當今ハ即チ女王ニメ名ヲ
城喇ト稱ス即位ノ後二年屬國ノ二王子ヲ請テ
之ヲ夫塔トナス女王朝ニ臨ンテ政ヲ聽寸ハ二

王子モ亦其左右ニ侍坐セリ諸候朝勤スル時ハ
女王ノ前ニ接近シ跪テ掌ヲ王ノ膝下出ス時ニ
王手指ヲ以テ親ク掌心ニ点ス諸候其手指ヲ嚙
テ而ル後ニ退ク是英國ノ重禮ナリ都府ヲ嚙^{ロシ}
ト云フ^{テイムスカ}爹橫河ノ上ニアリ家屋櫛比人民湊湊ス
此河ニ跨テ大橋アリ長サ百八十丈幅四丈三處
ニ燈臺ヲ設ケ夜間コレニ火ヲ点メ以テ行人ニ
便ス又岸上ニ砲臺ヲ築キ外寇ニ備ヘ數處ニ互
市場ヲ置キ土産ノ毛絨穀物錫鐵其他苧麻大麻
等ノ品ヲ以テ万國ノ商人ト貿易ス其商船河口

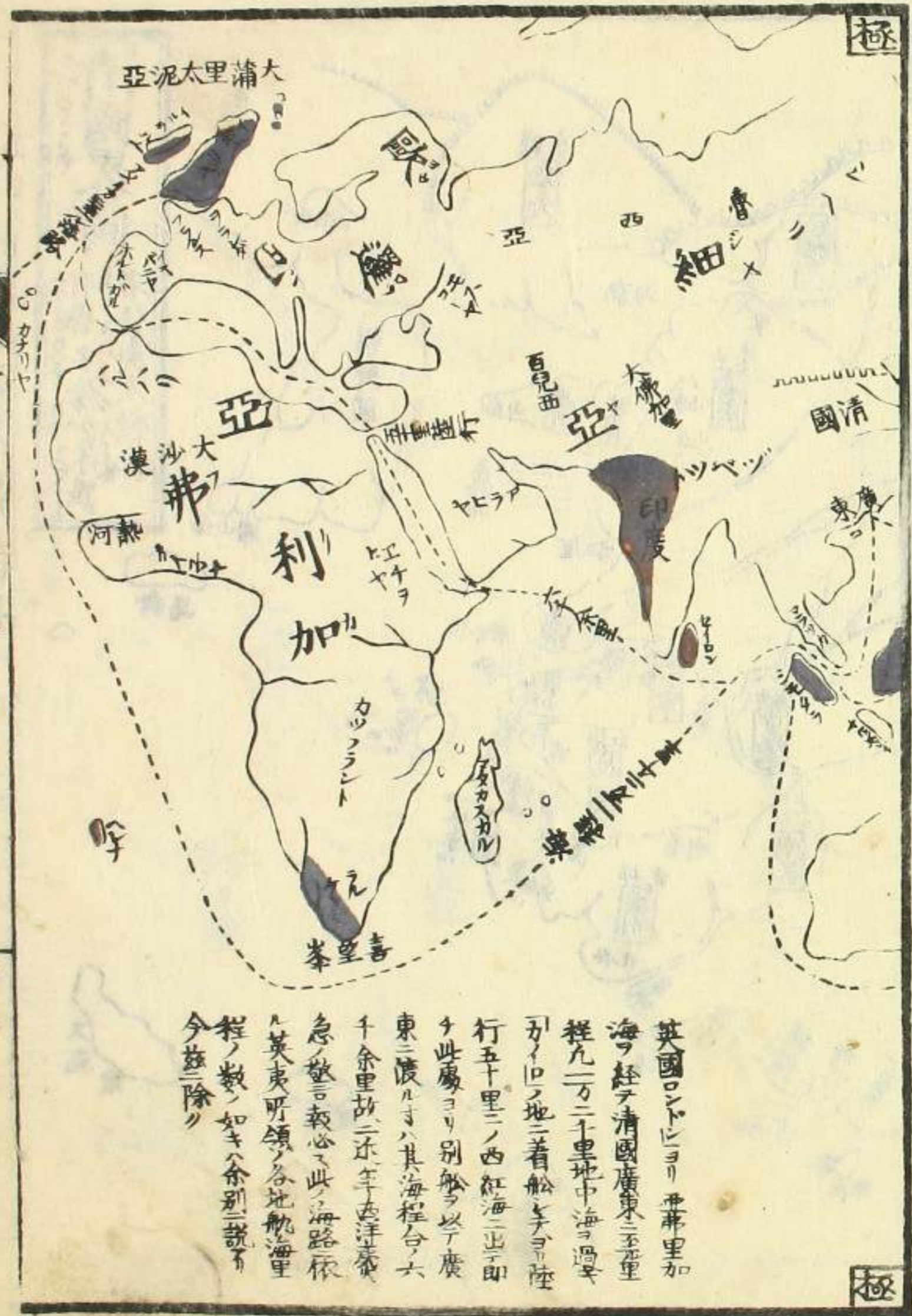
二相集テ危檣林立水面陸ノ如シ府下ノ人口凡
一百零五萬餘大學校ニ在ル所ノ生徒平常數萬
ノ多キニ下ラズ土人女子ハ頗ル情慾深クノ貞
烈ノ操無シ嘯嘖ノ俗毎夜酒筵ヲ設テ歡樂ス婦
女相争テ其筵ニ預ルトヲ希フト云男子ノ性極
テ伶俐狡黠然レ其事業遠大ヲ期シ大船ヲ製メ
萬國ニ航海シ諸物ヲ交易ノ巨萬ノ利ヲ計ル其
商船ノ數二萬八千八十艘船上ニ使役スル所ノ
者十八萬五千人國王ノ手船大砲四十挺ヨリノ
百二十挺ヲ備フル者八百余艘船上ノ徽号皆十

字ヲ畫ク赤青白ノ三色アリ就中赤色ヲ以テ貴
重トス印度所領ニ備ル軍船一百二十四艘本國
ヨリノ其地ニ留在ノ官吏凡四千人且又民兵ヲ
撰フニハ七十二ノ一ヲ取リ十八ヨリノ四十五
歳ニ至ル者ヲ限ル隊陣編束ノ法ハ三人ニ初ル
之ヲ祿多ト名ヅク祿多十六ヲ合メ設幾丁ト云
ト設幾丁ニ隊ヲ合ノ工巴倭尼云ト工巴倭尼四
隊ヲ合メ拔臺龍ト名ヅク拔臺龍二三隊ヲ合メ
列細綿多ト云フ夫ヨリ細比支列以傑兒格爾布
斯等ノ大隊陣アリ最各隊ノ中加比丹漏底南多

格魯涅熱涅刺尔等ノ官アツテ之ヲ指揮セリ其
 戎裝ノ如キハ近年火砲ノ技盛ニ行ハル、ニ依テ
 古昔ト大ニ一變シ務テ進退輕便ニ從フ故ニ鉄
 鎧金甲ヲ廢棄ノ之ヲ用ヒズ唯重騎兵ノミハ胸
 甲ヲ用ルナリ其火器大ナル者ハ迦礮忽礮一耳
 礮曰礮アリ其小ナルモノハ重手銃火槍邊銃ノ
 諸器アリ且又火箭隊ヲ設テ敵ノ城營ヲ燒燬ス
 ルノ用ニ備フ兵勢ノ勇猛峻烈ナルヲ西洋ノ諸
 夷其右ニ出ルモノナシ弱國アレバ直ニ之ヲ併
 有シ強國アレバ術ヲ以テ漸クニ之ヲ疲弊セシ

ム故ニ當今所屬ノ島地五大洲中ニ星羅延蔓セ
 リ防海ニ志アルノ士西洋僻境ノ夷人ヲ以テ之
 ヲ蔑視スルヲ無メ可ナリ

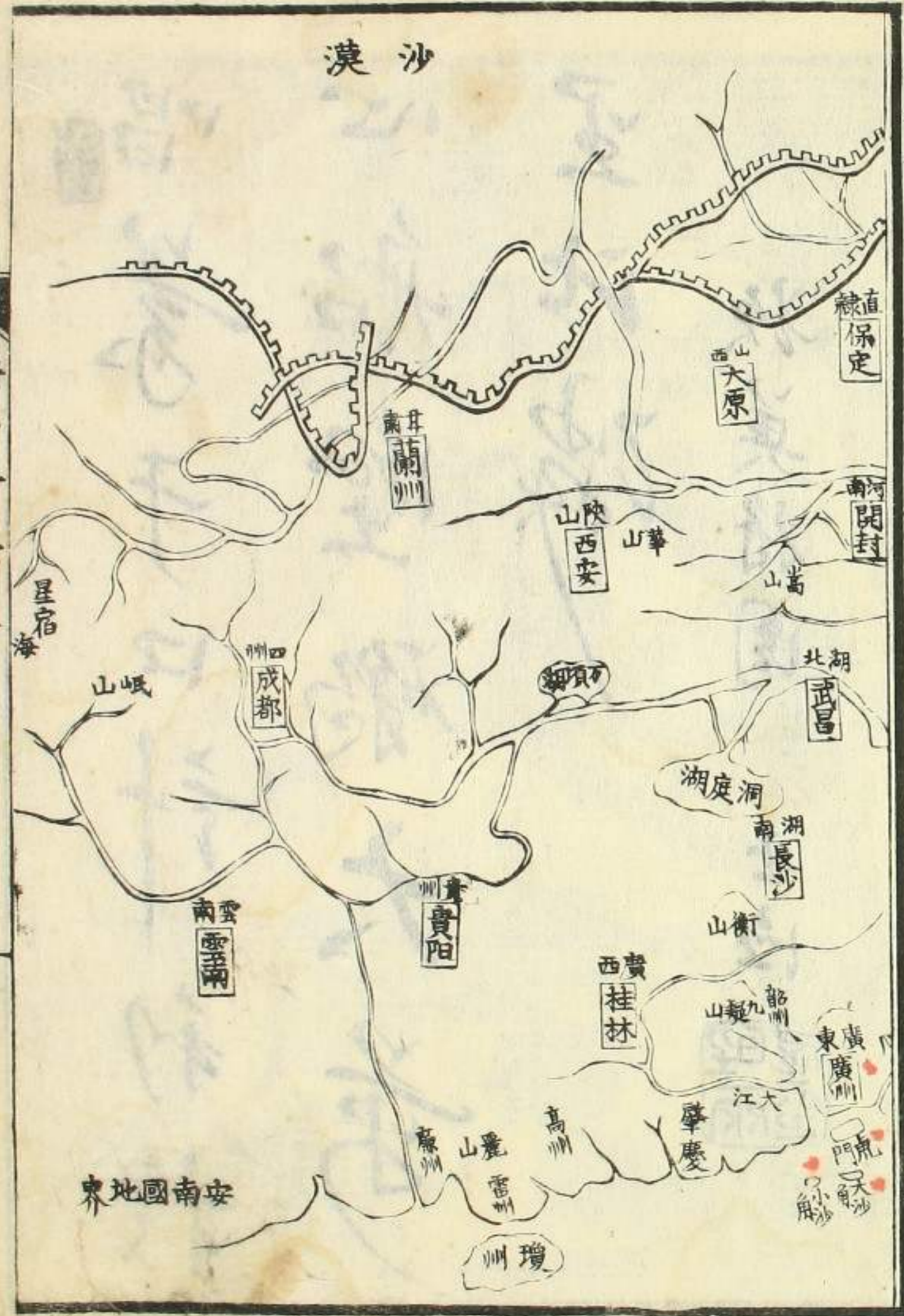
海小折古表一



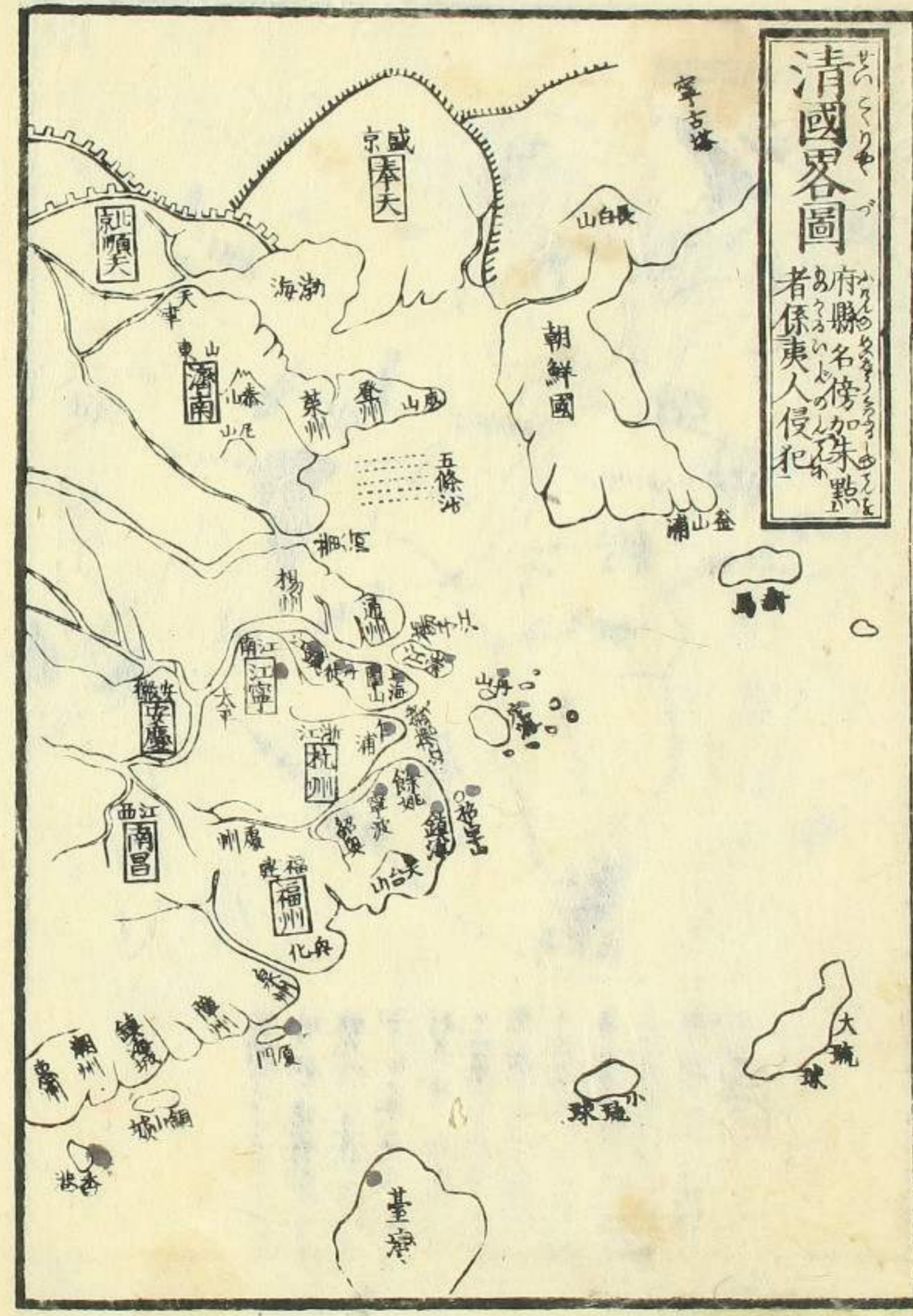
英國ロンドンヨリ、南緯里加
海ヲ經テ清國廣東ニ至リ、里
程九二〇ニ千里、地中海ヨリ過リ、
カノロ地ニ着ル、船ヲ陸
行五十里、西紅海ニ出テ、即
チ此處ヨリ別船ヲ以テ、廣
東ニ渡ル、其海程、六
千余里、故ニ亦、年、西洋、廣
急ノ聲、言、報、此、海、路、依
ル、英、夷、所、領、各、地、航、海、里
程、ノ、數、ノ、知、キ、八、余、別、一、説、
今、茲、ニ、除、ク



坤輿圖
英夷所領各
地、以赤
色、以表、之



每小折舌卷一



清國畧圖
府縣名傍如珠點者係夷人侵犯

海久來言

十一

英將戎裝圖



海下新書卷一

十三

唱篆于口計利於
心船堅礮大業
星比漢

欽英將圖

士泣



海下新書卷一

十三



同側面

海小新話卷一

十四

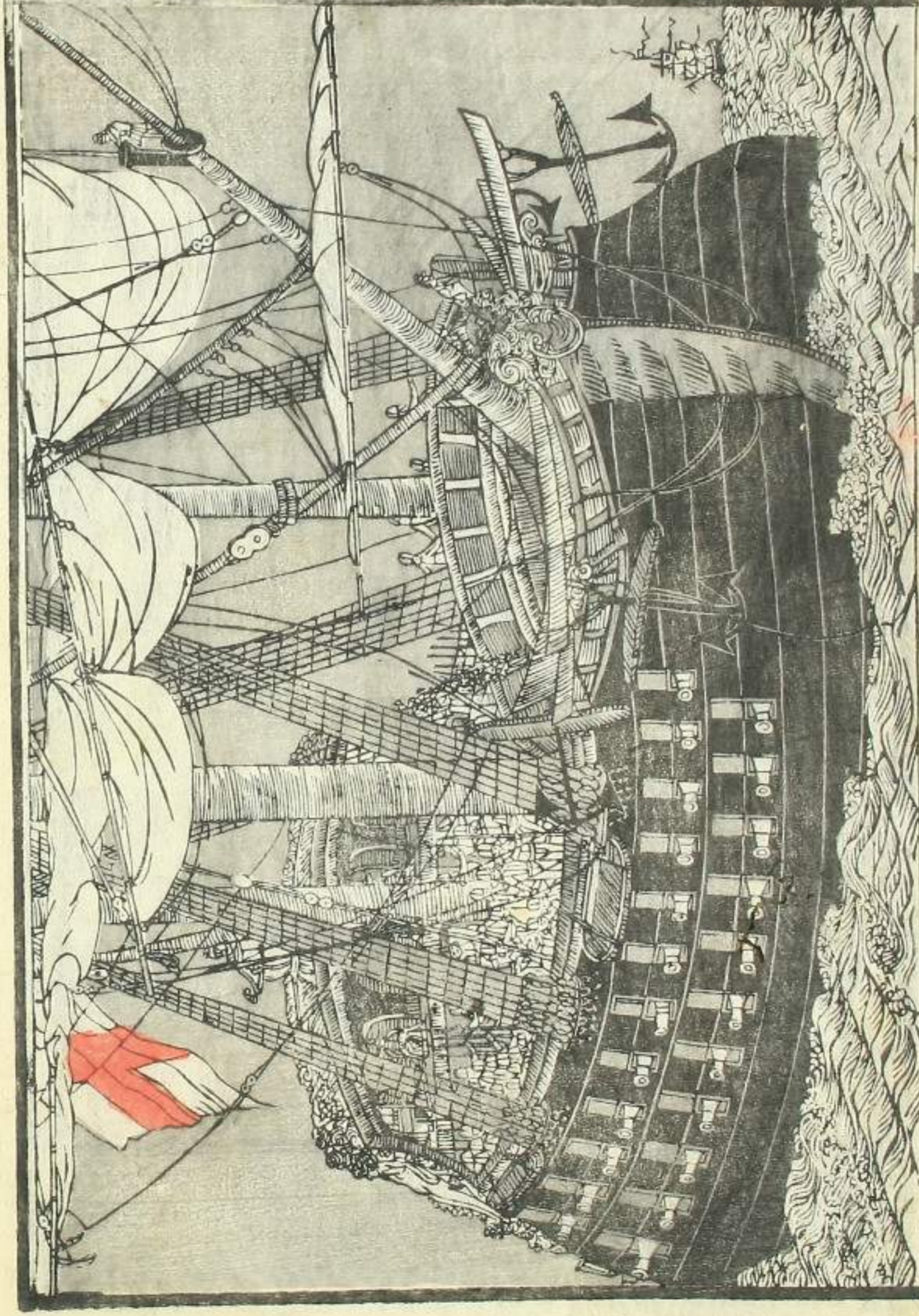
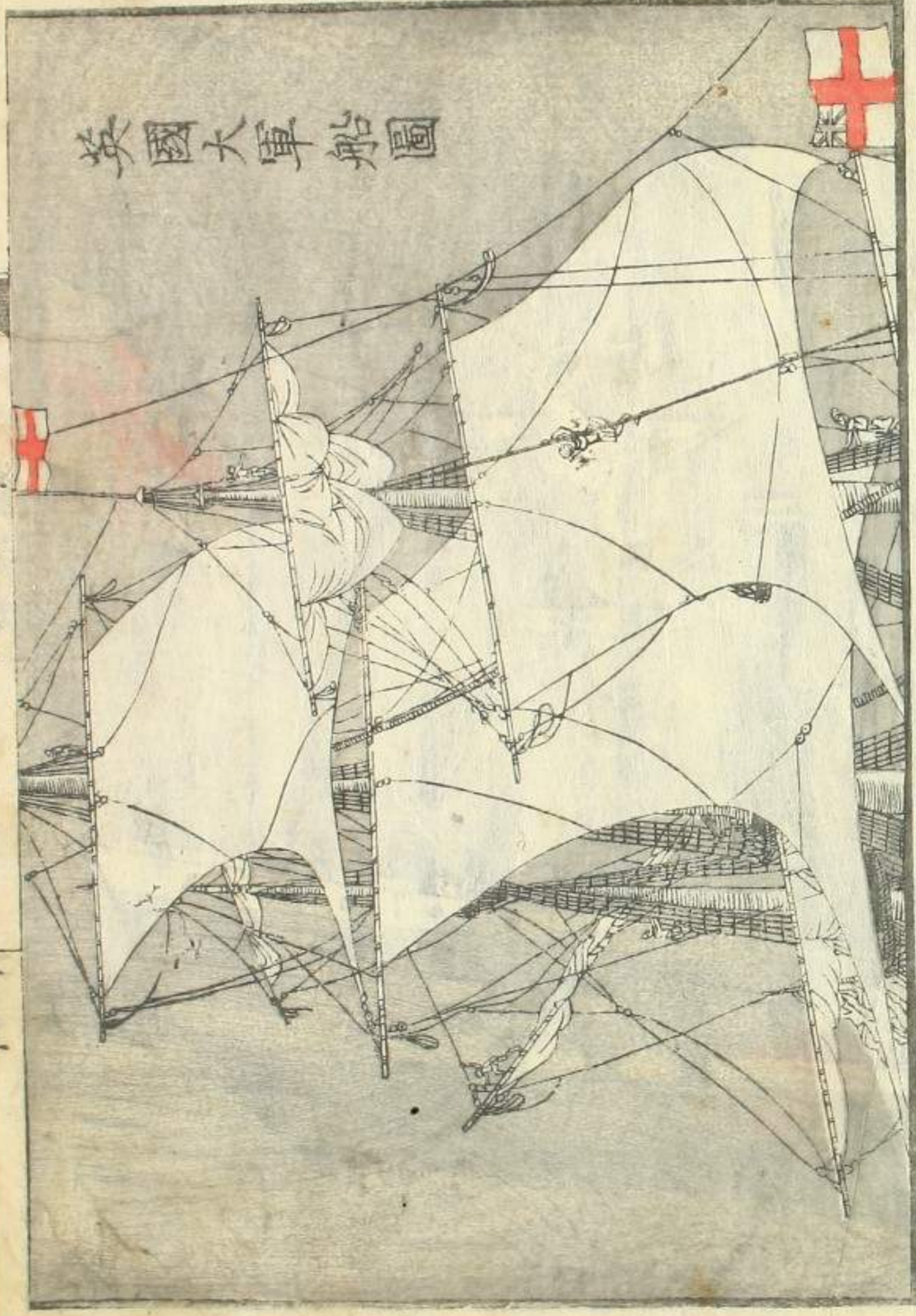


步卒軍裝前面

海小新話卷一

十三

英國大軍船圖



海軍集言卷一

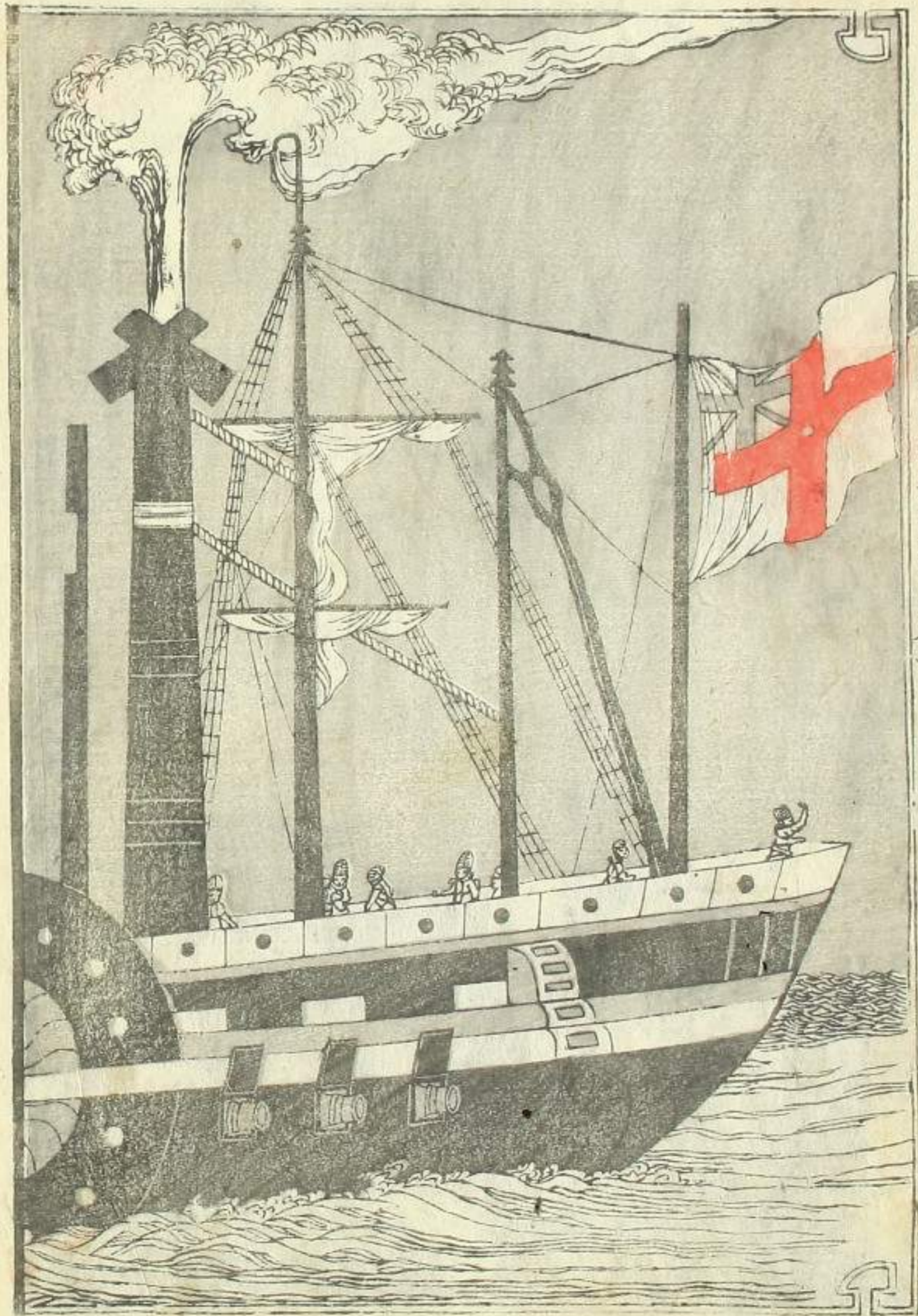
一四

蒸氣船圖



海外新語卷一

十一



海外新語卷一

十一

海外新話卷之一

鴉片煙流毒付黃爵茲上書事

爰小鴉片煙流毒の緣由を考ふる小今灰距事凡そ
 三百年前亞臘比亞及び印度の地方より初めて中
 國小渡來を其の海の粵省海濱の人民のみ見たり
 喫吸し猶未だ世小行はざりしが此物其味の妙小
 至味ありて一度喫するに終身忘れぬ人頗
 阿鬱結する小當のこれ灰用を其の其間を消し
 其鬱結を散し心氣和暢あざり由微醺を帯ふる如
 故小漸く感小流行し上王公より下庶人小至窮

嗒日嗜好せざるいふ此小於て夷商已が欲する所
 得て年々夥く廣東小持来り専ら漢土の金銀と
 交易し其理を得る事莫大なり元來鴉片の物なる
 烟氣人を害を常ふこれを嗜好むとた精神を耗し
 血液を損し終に百疾を招き救療するに内政小
 多る依て乾隆年間既に禁止の令を設け有る所乃
 鴉片一千函を焼且法律を犯すの罪を定む内地の高
 民鴉片を販ぐ者あれば枷を着ると一月杖一百と加
 へ三年の間邊疆小遣りて戌卒小充つ侍衛の官人と
 之を犯すとた其職を革め枷二月とれま一

百の杖を喫ふ或は二千里の遠き小請し或は奴とるし
 諸役小驅使を罪の輕重小従ひ各嚴科を處せられ
 う此を恐れ一時鴉片を賣買する者ありし何時と
 ろ其法弛して諸民又喫する旧の如し嘉慶二十
 再び鴉片三千余函を燒前律は固り之を禁止せし
 其深習深くして除き難く殊に海邊の折地遠
 沖合は船を出し英吉利船の来り候待て鴉片煙を請ひ
 求り諸物と交易し私小之を國中販く國中の者中
 亦これを買得て暗室無人の地は喫食せり如此るれ竟
 小其根源を絶て能く今帝道光七八年のころ小

賞り英夷又禁止の令降らんて俄に先廣東小番在
 する所の諸官人より多少の賄賂を送り已れ禁を犯んと
 するの方便を以て公然として鴉片を持渡す諸役人等も又
 往々賄賂の心を奪つれ敢てこれを制せしむ近年及んでい
 交易第一の品此は過る物あり故に持渡す所の數六千万
 斤のより下らざると同十八年山東の黃爵茲ある者あり
 鴉片の國家は有害あると深く憂ひ之を帝小奏せ近
 年中國の金銀不足めて人民疲弊する所以に全く鴉片
 煙の流行するより後來其家富の輩は國有の財を散
 一これ俄買求め貧窮の者となりて其嗜好の甚き小

より家財を典一田畝を敷き其金を以て鴉片烟小
 換へ終り己が産業を喪ふ故に遊民無賴の惡徒日々
 衆多めて制まらざるは誠と流弊如此め
 今日本禁せざんば後必や中國の財宝万里外
 夷人の為に奪ひ取られ殆ど尽ふんと況や鴉片を
 製するの金銀を製すると其功勞孰れ難く
 易なるを難く且貴き物を以て易く且賤きもの小交
 禁せざれば一月の患あり然れ共國家の一大事あり先
 小當りて速小禁断ありべきより忠肝を吐露して奏し

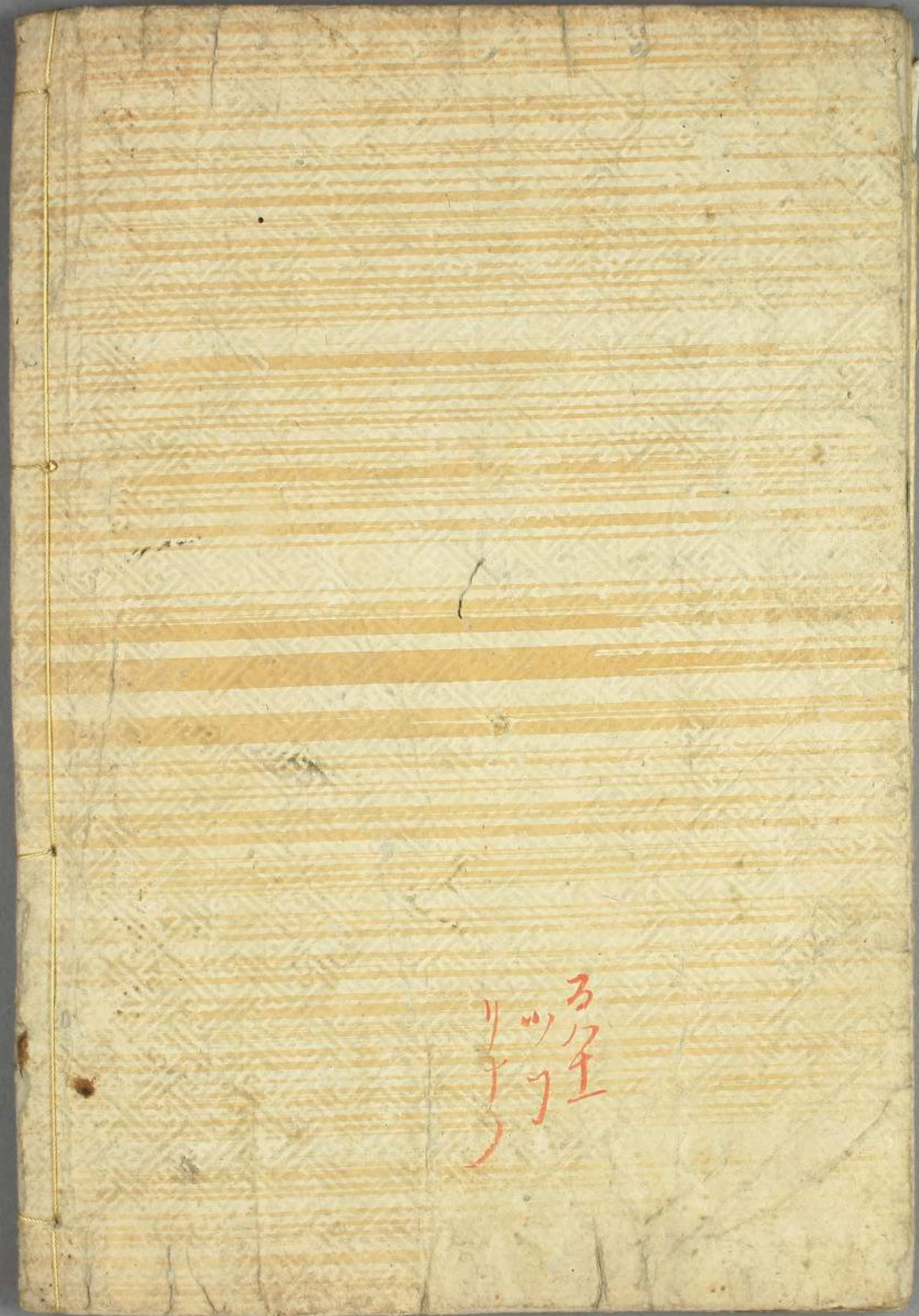
乃れバ帝大のふ其奏を可と給ひ即ち諸廷臣小命
 ト評議サレめ御入不愈禁断の美然るべと評議
 これ小一決を遂ふ其制を定め十人をのりて保と名づけ
 此を一組合とあり若一人法を犯せば十人の者尽く
 罰を受く専ら鴉片を畜藏するの及らざる煙具
 を所持する者も罪死を免れを既其法を犯す
 者ありて官吏これ見のづゝ問正さるるに又官吏乃
 職を奪ひ同く罪科もを行つる而後廣東苗在の英
 商も命ト今館内及び船中も有所の鴉片烟數
 悉く持去るべし再び持渡るとあるべし其由

あり命を関て夷人等今日より交易の大利を失ふ
 彼のの甚だ愁歎を然れども嚴禁の上如何も
 詮方も不日小數十の高船尽く廣東の濠洲退帆
 せり

海外新話卷之一終

るハ十一ツツ
リナノ

海外新話卷之一



万葉集
リツコ
)